

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	算数 円と多角形
学年	小学校第6学年
目標	パソコンを使って正多角形をかく体験を通して、正多角形の理解を深める。
教材タイプ	ジャストスマイル・スクラッチ
使用教材	ジャストスマイル
環境	パソコン室で1人1台パソコン使用
都道府県	徳島県
実施校	富田小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none">① 前時の振り返り② 本時のめあてを確認する。 パソコンを使って正多角形をかこう。③ 正多角形をかく。 正方形→正三角形→正五角形→正八角形→その他④ 正多角形ついて、気づいたことをまとめる。 <p>この授業では、正多角形についての理解を深めるためにプログラミングを活用した。まず、ジャストスマイルの中にある既存のソフトを使い、1つずつの四角形をかくことにチャレンジした。</p> <p>児童達は、方向を変えるところで、正方形だと90度を入れ、うまくいったが、三角形でつまづいた。三角の内角は、60度と学習したが、うまくいかず、全くわけがわからない児童は、適当な数字を入れていっていた。しかし、120度をいれるとうまくいくことにたどり着き、120度は三角形の外角にあたりと気づくことができた。児童は、いろんなことをためし行なうなかで、正しい答えにたどり着き、なぜそうなったのかと話し合い考えることができた。1人の力では、難しいことも何度も試してみる、協力することで正三角形をかくことができた。その後の正五角形をかくときには、三角形でみつけた方法をためしてみることで、うまくかくことができた。</p> <p>また、線の長さを変えることができると正三角形の大きさも変えることができることに気づくことができた。</p>
成果と課題	<p>成果：児童達が一人一人進んで取り組むことで、既習した多角形についての理解を深めることができた。</p> <p>課題：児童のPC作業の能力差をうめて授業を進めることが難しい。知識として持っているがパソコンの作業になるとどう表現していいか悩む児童がいた。</p>